

文化財保護不適切事案検証会議 第4回概要

(1) 開催日時

令和2年12月24日(木) 10:00~11:30

(2) 議題

ア 文化財保護課不適切事案に係る検証を受けた再発防止策(案)について
取りまとめ案

(3) 会議での主な意見

- ・原因に対する再発防止策が複合的になってもかまわないので、すべての項目の対応関係を明確にしてほしい。
- ・「これまで取り組んでいなかったことをやる。」ということを目頭部分に付け加えてほしい。これだけでできていなかったということにもなるが、しっかり明記していただきたい。
- ・根本的な原因があり、それを文章にするのは憚られるような内容があるのかもしれないが、そこを記載しないと過去に何回もあった改善策と同じになる。焦点をあてるべき事象がクリアになっているかが、今回の改善策が上手くいくかどうかのキーになる。
- ・専門家集団が、外部の変化に対して硬直的であったり、内部を守るように意識的に働いたりしてしまうのは、個人の資質の問題ではなく、組織の特性としてどこにでもある話であり、それが前提である。
- ・誰が悪かったとかではなく、この状況を放置してしまっていたことが、今回の原因。外部を受け付けず、自分たちの能力だけで突き進んでしまう文化を生んでしまったことが問題である。
- ・組織としての連携不足から、特定の職員に負担が偏ってしまった。組織として動けていなかったということ。
- ・再発防止策がうまくいくかどうかは、「なぜそれをやらなければならないのか」という部分について、納得感を得られるかどうかにかかっている。
- ・今回はきちんとわかってくれている。その部分を改善してくれる。ということが伝われば、再発防止策がうまくいくはずである。だからこそ、書きにくいかもしれないが、今回の事件の入り口を、原因にしっかり書いた上で納得してもらい、取り組んでほしい。
- ・失職した人間が出たこのタイミングでしか、変えることはできない。これ以上のタイミングはない。こんなことが起こってしまったが、前向きにとらえてよりいい仕事をしようという風に受け止めてもらえるようなものにしなければならない。